

中土佐町における風水害と火災

本項で前の町史、村史から風水害と火災の要約一覧を掲載

風水害

寛保元年(一七四一)	『山内家史料』○是歳夏秋ノ際數々風雨洪水アリ
天明二年(一七八二)	『山内家史料』十月九日風雨洪水の被害甚カラザル故ヲ以テ申上テ省略ノ令ヲ發ス
明治十九年	『中土佐町史』九月十日夜豊後水道を北上した台風、この年台風四回被害甚大
明治二十三年	『中土佐町史』九月十一日、久礼被害流家、數十戸、人畜多數死亡、「大野見村史」、死者四、家屋流失倒壊四十七
明治三十二年	『中土佐町史』八月二十八日暴風雨、久礼、負傷者二人、全壊家屋百二十六戸、上ノ加江、一戸、負傷三、全倒家屋九十五戸
明治三十五年	『中土佐町史』九月七日台風、暴風雨高津波來襲、久礼、浸水家屋百八十戸、上ノ加江、全壊一戸、決潰堤防九カ所
明治四十四年	『中土佐町史』八月十四日十五日、暴風雨、久礼、全壊四戸半壊五戸、上ノ加江、全半壊七戸
大正元年	『中土佐町史』八月二十三日夜半東部海岸をかすめ北上した大型台風、高潮あり
大正七年	『中土佐町史』七月十二日、豊後水道を北上した台風、県中部以西大洪水、久礼全壊七戸、半壊三戸、田畑被害甚大
昭和九年	『中土佐町史』九月二十一日、室戸台風、上ノ加江尋常高等小学校北校舎倒壊、「大野見村史」本村も被害大
昭和二十七年	『中土佐町史』十一月五日アグネス台風による潮被害、浦分堤防二十六メートル決壊、上ノ加江で床上三戸、床下二十三戸、浸水
昭和二十九	『中土佐町史』九月十三日鹿兒島上陸、九州縦断の大型十二号台風、上ノ加江海岸堤防欠壊
昭和三十三年	『中土佐町史』九月二十六日、台風十五号(伊勢湾台風)、最高十メートルの高潮、全壊六戸、半壊二戸、浸水家屋六十戸
昭和三十八年	『中土佐町史』八月八日、九日の台風九号、久礼、全壊二、半壊五十、「大野見村史」本村の被害甚大、明治二十三年以来の大洪水
昭和三十九年	『大野見村史』九月二十四日台風二十号、本村は雨による被害大、道路決壊、崖崩れ、農作物の被害大
昭和四十二年	『大野見村史』十月長雨被害、本村では、水稻の発芽統出、被害額は五、九百万円を越える
昭和四十五年	『中土佐町史』八月二十一日、台風十号種子部佐賀町上陸、本町においては午前七時、九時の間が最も猛烈、八幡前の堤防決壊、海水西町から礼場へ浸水、和田川が濁水となり礼場、中島は殆ど床上浸水、町内全壊三十七戸、半壊八十三戸、床上浸水百五十九戸、床下浸水四百六戸、軽傷三名、死者なし、この台風のためライオン島の松が根本の岩よりけずられる
昭和四十六年	『大野見村史』八月三十日台風二十三号、四万十川はらん、本村喜田部落一部床上浸水、被害総額八千百万円
昭和四十九年	『中土佐町史』台風十六号、九月一日午前六時二十分中土佐町に上陸、町内被害金壊五戸、半壊三六戸、床上浸水九四戸、(内久礼四六、上ノ加江四七)、床下浸水二百四十三世帯、被害額二千七百七十万円、災害救助法の適用を受く
昭和五十年	『中土佐町史』八月十七日の台風五号、町内床上浸水二戸、笹場大銀杏三本の内一本根本より倒る

火災

承応元年(一六五二)	『山内家史料』十一月二十八日夜久禮浦の高岡郡大火
寛文八年(一六六八)	『山内家史料』三月二日久禮浦火アリ民家百五十戸延焼ス
正徳元年(一七一)	『山内家史料』十月晦日久禮浦大火原、[平尾註]百二十七戸焼失
享保十六年(一七三二)	『山内家史料』二月十五日久禮浦○高岡郡久礼浦亦火アリ
延享三年(一七五四)	『中土佐町史』一月十二日久礼浦大火二百四十六戸焼失(原典不明)
宝暦四年(一七五六)	『中土佐町史』一月三日久礼浦大火百九十九戸焼失(原典不明)
天明八年(一七八八)	『山内家史料』十一月十一日久禮浦火
天明八年(一七八八)	『中土佐町史』上ノ加江浦大火「孫之丞焼」(原典不明)
寛政十一年(一七九九)	『中土佐町史』十一月八日上ノ加江浦大火七十戸焼失(原典不明)
文政四年(一八二二)	『中土佐町史』十二月二十三日久礼浦大火(原典不明)
天保四年(一八三三)	『中土佐町史』七月上ノ加江浦分大火(原典不明)
弘化元年(一八四四)	『中土佐町史』上ノ加江浦大火、浦分全焼「新六焼」(原典不明)
嘉永二年(一八四九)	『中土佐町史』四月四日上ノ加江浦大火二百七十六戸焼失(原典不明)
明治十三年	『中土佐町史』上ノ加江九番小路より北全焼「辰の焼」といわれる
明治二十年	『中土佐町史』二月二十二日久礼浦分二百四十戸焼失
明治二十七年	『中土佐町史』八月六日久礼七軒町より出火、百八十戸全焼
明治四十一年	『中土佐町史』十月九日午後十二時頃上ノ加江浦分より出火、家屋十棟全焼、破損三棟その他八軒、損害四千二百円
大正四年	『中土佐町史』一月四日午前一時、久礼八幡町より出火、焼失家屋百三十七戸、大正天皇より救恤金三百五十円下賜された
大正五年	『大野見村史』四月八日樺山園有林大火災
大正五年	『大野見村史』四月二十四日榎野々の大火、本村としては記録的な大火災で七戸全焼、二宮神社も焼失
大正六年	『中土佐町史』六月二十四日上ノ加江で火災、家屋六棟、納屋二棟焼失
大正十五年	『中土佐町史』一月十七日午前六時、久礼炭納屋より出火納屋四十六棟焼失
昭和七年	『中土佐町史』二月二十日、午前八時三十分出火、十一時頃鎮火、二百三十一戸焼失、罹災者十五十七人、損害額十五万円
昭和十七年	『中土佐町史』二月十五日午後六時二十分久礼浦分より出火、午後十時頃鎮火、全焼六十三戸、半焼六戸、罹災人員百七十人
昭和二十七年	『中土佐町史』二月十八日午前零時四十分出火、民家九戸、木炭倉庫十四棟全焼、損害二千二万円、鎮火午前二時二十分
昭和二十八年	『中土佐町史』四月十七日午前一時十五分、久礼町出火、九戸全焼、二時二十五分鎮火損害三百万円
昭和四十九年	『大野見村史』三月十七日吉野に大火あり、住家等三棟全焼、静かな山村をふるえあがらせる原因は放火